

「家族でやま学の日」活用の手引き

下関市教育委員会

1 ねらい

- 山口県が進める「こどもや子育てにやさしい休み方改革」の一環として、県内の公立学校に通う子どもたちが、休業日以外でも家族とともに、校外で体験や探究の活動を行える「家族でやま学の日」を導入し、家族で過ごせる仕組みを構築すること。
- 「やまぐちで学ぶ」、「やまぐちを学ぶ」ことで、山口への愛着を深めること。

2 概要

- 校外での自主学習活動として位置付け、「欠席」扱いとはせず「出席停止・忌引等」の扱いとなります。保護者等の休暇に合わせて取得することができます。
- 県外で学んだことについて山口県と比較するような学習も考えられるため、活動場所は、「県内」「県外」を問わず可能です。
- 原則として取得予定日の1週間前までに、保護者が学校に申請書を提出してください。
- 申請後、校長の承認を得た申請書の写しを受け取ります。
- 活用できる日数は、年間3日までです。
- 「家族でやま学の日」を活用したことで受けられなかった授業の学習内容は、原則家庭学習で補うこととしていますので御理解ください。

3 その他の留意点

- 「家族でやま学の日」に関する事後の報告等は求めません。
- 「家族でやま学の日」を活用できない日は、以下のとおりです。

入学・卒業式、始業・終業（修了）式、運動会・体育祭、文化祭・発表会等
 修学旅行、宿泊学習、遠足、社会見学、参観日等
 中間・期末テスト、学力テストを含めた進路関係行事（職場体験、進路説明会等）
 学年または全校一斉に行うテスト、学力調査等

4 「家族でやま学の日」の活動のポイント

- 家族で「一緒に過ごす時間」が大切です。
- 「何のために、何を学ぶか」を事前にお子さんと一緒に話し合ってみてください。
- 遠くに行かなくても、身近な地域にも「学びの種」はあられています。

5 活用例

◇地域の史跡めぐり◇



地域ガイドと一緒に史跡をめぐり、地元の歴史について学び、新聞やスライドにまとめてみよう

◇身近な植物調査◇



家の周りの植物について図鑑やインターネットを使って調べ、分布や季節による違いを整理してみよう

◇いろいろな表現で◇



家族で使う食器など、自由な発想で形作り、実際に使った感想を交流しよう

◇家族で農業体験◇



収穫した野菜などを使ったオリジナル献立を考え、調理を計画して、家族にふるまってみよう

◇自然を感じる◇



山や川、海などの自然に触れ、そこでしかできない体験をしてみたり、写真などの記録におさめたりしてみよう

◇新たなスポーツへの挑戦◇



普段学校では経験できないニュースポーツに、家族みんなで挑戦したり、独自のルールを考案したりしてみよう